



📺 みんなで使おう きばっと商品券



10月1日から利用開始の「コロナに負けるな！“オール南さつま”きばっと商品券」は、商品券の利用登録を行っている店舗・事業者で利用できます。

大浦地域や笠沙地域の一部などで食料品・日用品の移動販売を行っているスーパーオキでも、市制15周年記念のエコバッグを片手に商品券で買い物する高齢者の姿が見られました。商品券の利用期間は、令和3年2月28日までです。

📺 道路愛護優良団体に県知事表彰



長年にわたり道路の美化清掃に努めている、武田上自治会（加世田地域）、花瀬自治会（金峰地域）、平原自治会（坊津地域）が「道路愛護優良団体」として県知事から表彰されました。10月2日に行われた表彰伝達式では、南薩地域振興局大山浩昭局長が「地域における道路の意義・重要性をご理解いただき、長きにわたり清掃を継続してこられたそのご苦勞に敬意を表します」と祝辞を述べました。

📺 コロナ禍の介護現場 ロボット活躍



社会福祉法人野の花会は、鳳凰高校で総合福祉学科の生徒を対象に、介護ロボット・福祉用具の紹介や実演を行いました。

生徒たちは、抱え上げなど肉体的負担を減らすロボットのほか、歌や踊りで利用者を楽しませるコミュニケーションロボットや遠隔操作して見回りを行うロボットなど介護職員の精神的負担の緩和のため導入したロボットが、コロナ禍での密接回避に活用されていることなど知りました。

📺 コロナ禍で家族と会えない人を励ます



市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染防止のため家族と面会できない介護・医療機関に入所・入院している人たちに贈る手紙などを募集し、市内の幼稚園・小中学校などから500点を超えるメッセージが寄せられました。9月15日に同協議会を訪れた加世田常潤高校の弥栄玲奈さん（生活福祉科2年生）と福島旺佑さん（同1年生）は「大変な時期だけど、少しでも元気になってほしいという想いを込めた」と話しました。